

高崎健康福祉大学「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開」

「小児看護学の授業におけるチーム基盤型学習の導入の試みと今後に向けた教育的示唆」 へご協力をお願い

研究機関名：高崎健康福祉大学

研究責任者：保健医療学部看護学科 櫻井 美和

研究分担者：保健医療学部看護学科 星野 美穂, 山崎 彩, 石井 美江

個人情報管理者：保健医療学部看護学科 櫻井 美和

研究倫理審査番号：高崎健康大倫第 2347 号

オプトアウト期間：情報公開日より 1 か月

1. 研究の概要

1) 研究の意義：

看護系大学の看護基礎教育課程におけるアクティブラーニングの方法の構築・発展の一助となる。

2) 研究の目的：

- (1) チーム基盤型学習 (TBL ; Team Based Learning。以下、TBL とする) を小児看護学方法論の授業において試行する
- (2) TBL 授業による学生の学びの深化や、看護職者に求められる「論理的思考力・問題解決能力」「知識と実践を統合する能力」「責任感をもって協働する能力」等の修得に寄与する学習方法であるか否かを探求する。
- (3) 上記(1)(2)により、小児看護学の授業において TBL を授業に取り入れることの適切性、より学習効果を向上させるための方略等に焦点をあて、今後の授業展開における教育的示唆を考察する

2. 研究の方法

1) 研究対象者：令和 5 年 4 月 20 日 (木) ~ 7 月 27 日 (木) までに高崎健康福祉大学において小児看護学方法論の授業を履修し、データを提供していただいた保健医療学部看護学科 2 年生の方

2) 研究期間：研究許可日より令和 6 年 3 月 31 日まで

3) 研究方法：

- (1) TBL に関する書籍、先行研究に基づき、小児看護学方法論の TBL ユニット設計 (試案版) を作成する
- (2) TBL ユニット設計 (試案版) に基づき、計 4 回の授業を展開する
- (3) TBL 授業後のレスポンスカード (全 4 回分) への自由記載内容を質的帰納的に分析・評価する
- (4) TBL 授業 (全 4 回) が終了した後に学生が自己評価した『チームへの貢献度』を記述統計により

分析・評価する

4) 利用又は提供する試料・情報の項目：

- (1) チーム基盤型学習を実施した第7・8・10・11回目〔6月8日（木）、6月15日（木）、6月26日（月）、6月29日（木）〕の授業後のレスポンスカード(C-learning【アンケート】)に回答した自由記載内容
- (2) 第15回目〔7月27日（木）〕の授業後の授業過程評価アンケート（C-learning【アンケート】）で回答した『チームへの貢献度』に関する自己評価
- (3) チーム基盤型学習を実施した際の授業風景（ディスカッション風景）の写真

5) 利用又は提供を開始する予定日：令和5年9月1日

6) 情報の保存・試料・情報の再利用と他機関への試料・情報の提供：

研究対象者の個人情報（個人情報を特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（いわゆる対応表））は個人情報管理者が保管します。個人情報を特定できないように加工した情報は電子情報として保存します。この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了後5年または研究発表後5年のいずれか遅い日まで保管した後、個人情報が特定できないまま廃棄します。

また、保管される既存試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書等を倫理審査委員会に付議し、承認されてから利用します。また、その際は情報公開文書を作成し、高崎健康福祉大学のホームページ「臨床研究に関する情報公開」(<https://www.takasaki-u.ac.jp/contribution/research-activities>)で公開したうえで、研究対象者が研究参加を拒否する機会を保障します。他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別ができないよう措置を行います。提供先が外国の研究機関や外国企業の場合には、その国でのプライバシー保護規定が定められていることを確認した上で、研究対象者個人を特定できる情報を含まない形にして提供します。

7) 情報の保護：

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。試料・情報の管理の責任者は研究責任者です。

8) 倫理審査：

高崎健康福祉大学で行われる全ての人を対象とした生命科学・医学系研究は、研究に参加される方の人権や安全性の保護および科学性について問題がないかを高崎健康福祉大学研究倫理審査委員会にて審査され、その意見をもとに学長が許可したもののみ実施されます。本研究は、高崎健康福祉大学研究倫理審査委員会において審査を受け、学長の許可を得ております。

9) 研究資金源及び利益相反：

本研究では研究資金として個人研究費を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼす

ような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

10) 研究計画書および個人情報の開示：

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

11) 研究への使用を希望されない場合：

あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合であっても研究対象者の皆様に成績や単位修得にかかわる不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

<問い合わせ・連絡先>

担当者：櫻井美和

電話：027-352-1291（平日：10時30分～17時30分） ファックス：027-352-1985

Email: sakurai-m@takasaki-u.ac.jp